

調査・研究活動報告_46号

雑誌名	アジア文化研究所研究年報
巻	46
ページ	359-362
発行年	2011
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00009247/



調査・研究活動——二〇一〇年度～二〇一一年度

平成二三（二〇一一）年度は、研究所プロジェクト四件の研究資金を獲得したプロジェクトをはじめとして、従来の班別研究など多数の共同研究計画が展開された。

【研究所プロジェクト】

「境域アジアのトランスナショナル・コミュニティ——地域間比較研究の定礎に向けて」による境域現地調査及び資料収集

研究員 山 本 須美子

期 間 二〇一〇年二月三日～二月二七日
調査地 台北（台湾）

「アジア境域における跨境的生活様式の研究——東アジア・東南アジアの比較」による文献収集と聞き取り調査

研究員 山 本 須美子

期 間 二〇一一年八月二三日～八月三一日
調査地 シンガポール（シンガポール大学）

「アジア境域における跨境的生活様式の研究——東アジア・東南アジアの比較」計画による韓国・巨済島調査、および釜山・東亜大学で「日韓境域文化」研究会参加

研究員 松 本 誠 一

客員研究員 井 出 弘 毅

期 間 二〇一一年八月二一日～八月二六日

調査地 韓国 巨済市 釜山市（巨済文化院・東亜大学校）

「アジア境域における跨境的生活様式の研究——東アジア・東南アジアの比較」計画による東亜大学・東アジア文化研究所での「日韓境域文化」ワークショップに参加

研究員 松 本 誠 一

客員研究員 井 出 弘 毅

客員研究員 宮 下 良 子

期 間 二〇一一年八月二六日～八月二八日
調査地 山口県 下関市（東亜大学）

「アジア境域における跨境的生活様式の研究——東アジア・東南アジアの比較」計画による韓国・釜山調査

客員研究員 宮 下 良 子

期 間 二〇一一年九月二四日～九月二八日
調査地 韓国 釜山市（巨済文化院等）

※右記四件の詳細については本号所収の「アジア境域における跨境的生活様式の研究——東アジア・東南アジアの比較」報告を参照。

「中国農村経済の構造変化と労働市場」計画による北京市、四川省、陝西省において現地調査・打合せ

研究員 郝 仁平

期間 二〇一一年九月一日～九月二十七日

調査地 中国 北京市 成都市 延安市 西安市（中国人民大学・社会科学学院・四川大学・延安市政策研究室・西北大学・陝西師範大学）

※右記の詳細については本号所収の「中国農村経済の構造変化と労働市場」報告を参照。

「アジア文化圏における経済法制の諸相」計画による深圳大学との国際共同セミナー参加

研究員 後藤 武秀
研究員 井上 貴也

期間 二〇一〇年十二月三日～十二月六日

調査地 中国 深圳（深圳大学）

「アジア文化圏における経済法制の諸相」計画による中国における日本・台湾合併企業の董事会運営に関する調査

研究員 後藤 武秀

期間 二〇一〇年十二月一日～十二月二日

調査地 中国 広州市（東華隆（株）等）

「アジア文化圏における経済法制的諸相」計画による深圳大学において日本・台湾の合併企業に関する研究・調査

研究員 後藤 武秀

期間 二〇一一年三月五日～三月七日

調査地 中国 深圳（深圳大学）

「アジア文化圏における経済法制的諸相」計画による深圳大学で開催される国際セミナー参加および漢陽大学校での文献・情報収集

研究員 李 芝妍

期間 二〇一一年二月一日～二月五日

調査地 韓国 ソウル市（漢陽大学校） 中国 深圳（深圳大学）

「アジア文化圏における経済法制的諸相」計画による深圳大学で開催される国際セミナー参加

研究員 後藤 武秀

研究員 井上 貴也

期間 二〇一一年二月二日～二月五日

調査地 中国 深圳（深圳大学）

※右記五件の詳細については本号所収の「アジア文化圏における経済法制的諸相」報告を参照。

「近代日本の民族スポーツ形成におけるアジア諸民族の役割」に基づくト

ルコ共和国での調査・研究

研究員 三沢 伸生

期間 二〇一一年八月二日～八月二六日

調査地 トルコ共和国（イスタンブール・アンカラ）

※右記の詳細については本号所収の「近代日本の民族スポーツ形成におけるアジア諸民族の役割」報告を参照。

「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に関わる文献調査

院生研究員 竹内 洋介

期間 二〇一〇年二月一八日～二月一九日

調査地 名古屋（名古屋大学附属図書館）

「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に関わる文献調査

院生研究員 竹内 洋介

期間 二〇一一年一月二六日～一月二八日

調査地 京都（佛教大学図書館・国立国会図書館関西館）

両次に亘る本出張は、若手研究者育成研究所プロジェクトとして採択を受けた課題、「唐代「牛李党争」に関する基礎的研究」に基づき、作成中であった『唐代「牛李党争」関係研究文献目録』に掲載する文献の収集・確認作業のため行った。

本調査の中心となったのは、国内では所蔵の限られる外国語文献（英

調査・研究活動

文・中文・ハングル）および、諸報告書の調査であり、その収集と詳細な書誌データの確認作業を行った。両次の調査により、ほぼ文献目録掲載予定の文献調査・収集は終了し、研究計画の目標を達成した。これを承けて、平成二三年二月二八日に、本研究課題の成果報告書も兼ねた『唐代「牛李党争」関係研究文献目録（一九二七～二〇一〇年）』（竹内洋介編、東洋大学アジア文化研究所）を発行し、研究成果として公表するに至った。